

令和8年度アクリエひめじ「第九」合唱応援プロジェクト対象公演

姫路第九第50回記念公演 平和な21世紀を創る歓喜の歌



牧村邦彦



野口 真瑚



富岡 明子



加護 翔大



池内 響

第九

SYMPHONY No.9

L.V.ベートーヴェン

交響曲第9番二短調 op.125「合唱付」

姫路第九50回記念創作曲

交響詩「美しい人間が・・・」(合唱あり)



指揮 牧村邦彦

管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団

ソリスト
ソプラノ 野口 真瑚
アルト 富岡 明子
テノール 加護 翔大
バリトン 池内 響

合唱 2026姫路第九合唱団

合唱指導 井上 敏典・土田 景介

合唱団顧問 坂下 功一

練習ピアニスト 丸山 聡美・三木 麻帆

韓国市民「クンドゥル」合唱団

合唱指導 チェ・ホソン

2026年 (姫路労音12・1月A例会)

12月6日(日) 開演 3:00pm
開場 2:15pm

アクリエひめじ大ホール

兵庫県姫路市神屋町 143-2 TEL:079-263-8082

	指定席	当日指定
全席指定席	一般 5,500 円	4,500 円
	高校生以下 3,500 円	2,500 円

※当日指定：コンサート当日 2:00pm から受付で座席券をお渡しします。
(座席の選択はできません)

お問
合せ

姫路労音 079-290-5522

〒670-0083 兵庫県姫路市辻井 5 丁目 5-36

後援：姫路市、(公財)姫路市文化国際交流財団、姫路文連





牧村 邦彦(指揮)



大阪シンフォニカー(現大阪交響楽団)指揮者として13年間在籍後、オペラの世界に魅了され、再び新国立劇場公演の音楽スタッフから出直し、その後活動の場を全国に広げる。その中で指揮者、星出豊氏の薫陶を受けた。邦人新作オペラの初演など意欲的な活動時期を経て、ベルカントオペラのセリア作品群や『アイダ』『オテロ』『ファルスタッフ』『トスカ』『トゥーランドット』等の大規模作品などレパートリーは80作品を超える。全国各地のオペラ団体の公演に招かれ、各団体の権威ある受賞にも貢献。オペラを通して札幌響、神奈川フィル、セントラル愛知響、日本センチュリー響、広島響、大阪フィル、瀬戸フィル、九州響、琉球フィルなどと共演。

現在、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者、大阪芸術大学客員教授、大阪音楽大学大学院講師。

野口 真瑚(ソプラノ)

京都府出身。大阪音楽大学大学院声楽研究室オペラ系修了。新国立劇場オペラ研修所25期修了。これまでに「フィガロの結婚」伯爵夫人、スザンナ、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ、「コジ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「月の世界」フラミーニア、「領事」アンナ・ゴメス、「カルメル会修道女の対話」ブランシュで出演。研修所在籍中に、ANAスカシップにより、ミラノ・スカラ座アカデミーにて研修。オペラ以外では、第九のソリストや、NHKリサイタル・パッシオ、ザシンフォニーホール主催「紅白オペラ歌合戦」に出演。第27回松方ホール音楽賞、音楽賞受賞。第74回全日本学生音楽コンクール第一位、横浜市民賞、佐々木成子賞受賞。



富岡 明子(アルト)



東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学中に安宅賞、同声会賞、アカンサス音楽賞を受賞。伊パルマ音楽院に学び首席にて学位取得。F・ラボー国際声楽コンクール、日本音楽コンクールなど国内外で入賞多数。パルマ歌劇場「試金石」クラリーチェ、ペーザロ・ロッシーニフェスティバル「ランスへの旅」マッダレーナ、小澤征爾音楽塾及び日生劇場「セヴィリアの理髪師」ロジーナ、二期会「ノルマ」アダルジーザ、新国立劇場「イオランタ」イネスなど多くのオペラに出演。コンサートにおいても「第九」をはじめ、モーツァルト及びヴェルディ「レクイエム」、マーラー「千人の交響曲」、バッハ「ヨハネ受難曲」等のソリストとして活躍。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。

加護 翔大(テノール)

大阪音楽大学首席卒業。同大学専攻科修了。同大学院声楽研究室歌曲系修了。大学卒業時に最優秀賞を受賞。第58回関西新人演奏会に出演。第9回あおによし音楽コンクール《プロフェッショナルステージ》第3位。三河市民オペラ『アンドレア・シェニエ』修道院長でデビュー。その他にも、『魔笛』タミーノ、僧侶Ⅱ、武士Ⅰ、『ドン・ジョヴァンニ』オッターヴィオ、『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、『こうもり』アイゼンシュタイン、アルフレード、『フィガロの結婚』バシリオ、クルツィオで出演。その他、ベートーヴェン『第九』、マーラー『大地の歌』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』にテノールソリストとして出演。



池内 響(バリトン)

姫路市出身。東京藝術大学院修士課程オペラ科修了。サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクール1位、東京音楽コンクール声楽部門第1位及び聴衆賞等、国内外で受賞多数。日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》題名役、日生劇場および全国共同制作オペラ《ラ・ボエーム》マルチェッロ、びわ湖ホール《ばらの騎士》ファニナル、日本フィル《仮面舞踏会》レナート、全国共同制作オペラ《愛の妙薬》ベルコーレ等出演。第67,68回NHKニューイヤーオペラコンサートに出演。また「第九」「メサイア」等のソリストとして全国の主要オーケストラと共演。第37回姫路市芸術文化奨励賞、第25回坂井時忠音楽賞、2020年兵庫県芸術奨励賞の各賞を受賞。



関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年に発足した関西を代表するオーケストラ。2020年に楽団創立50周年を迎えた。指揮者陣は2025年4月より、総監督・首席指揮者：藤岡幸夫、首席客演指揮者：鈴木優人、アーティスティック・パートナー：リオ・クオクマン、名誉指揮者：オーギュスタン・デュメイ。また、永久桂冠名誉指揮者：飯守泰次郎(故人)。フレンド・オブ・サチオ：山田和樹。2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。BSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』に藤岡幸夫と共に出演中。2023年10月にはベルギー・フランス・ドイツの3カ国3都市を巡る2度目のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。